



三原市長  
五藤 康之

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。また、平素から本市のまちづくりにお寄せいただき、ありがとうございます。ご支援、ご協力に深く感謝申し上げます。

本年は、まちづくりの基本計画である長期総合計画の第2ステージの2年目であり、計画を着実に推進し、本市のさらなる飛躍への年としなければならないと考えております。

さて、経済に目を向けますと、急激な円高の影響などにより景気は足踏み状態にあります。本市におきましても、依然として厳しい経済・雇用状況が続いてはありますが、地域経済活性化に積極的に取り組み、活力ある三原の実現を図ってまいります。具体的には、今春開通する、広島中央フライトロードにおける空港大橋周辺を今後新たな観光名所となるよう整備するほか、国道2号三原バイパスも来春の全線開通に向け、道の駅と共に整備を促進します。また、「瀬戸内海の道構想」や「海フェスタ2011」などと連動し、三原の経済を一層元気づけてまいりたいと考えております。

加えて、本市の喫緊の課題であります「南小学校グラウンド共用問題」並びに「駅前東館跡地の活用」について解決を図っていく所存です。

南小学校については、帝人用地に新築移転し、併せて保育環境の整備のため三つの保育所の統合移転と、武道館の再建を進めたいと考えております。

駅前東館跡地については、新庁舎と市民の皆様にご利用いただける施設、並びに民間商業施設を複合的に整備し、中心市街地のさらなる活性化を図ってまいります。今後は、市議会に設置された「調査特別委員会」や市民の皆様方のご意見を踏まえながら、具現化に向け努力してまいります。

これらの事業の推進と諸課題の解決を図りながら、「安心・安全で住み続けたい元気なまち」を、皆様と共に創ってまいりたいと考えておりますので、一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

本年が、市民の皆様にとりまして、健康で夢多き素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさついたします。

新年のごあいさつ



三原市議会議長  
高下正則

新年あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、我が国の景気回復は足踏み状態となっており、先行き不透明で不安定な経済情勢が続く見通しであります。本市の財政状況も、景気の低迷による税収の落ち込みなど、大変厳しい状況ではありますが、少子・高齢化対策、地域経済の活性化、教育環境の充実など、増大する行政課題に取り組んでいかなければなりません。

また、政府においては、住民一人ひとりが自ら考え、主体的に行動し、その行動と選択に責任を負うという「地域主権」の確立をめざして、さまざまな改革が検討されており、住民に身近な行政はできるだけ地方自治体に委ねるといった観点から、地方自治制度の抜本的な見直しも考えられているところです。

このような状況の中、地域住民の代表である私も市議会の果たすべき役割は、ますます大きくなっていきます。議会がその機能を十分に発揮していくためには、自主性・自律性を高め、自らの判断によって権能が行使できる体制をつくっていかなければなりません。

現在、本市議会においては、二元代表制の一翼を担う議会のあるべき姿とその使命、その達成のために求められる議会活動、議員活動の内容と方向を明らかにする議会基本条例の制定に向けて取り組んでいるところです。

今後とも、市民の代表という自覚のもと、実りある議論を繰り広げ、市民の皆様のご意見を市政に反映させるとともに、議会としてのチェック機能を十分に発揮してまいります。

終わりに、皆様方のご健康とご多幸を、そして三原市の発展を祈念し、年頭のごあいさついたします。